

第20回参議院議員通常選挙

民主党大躍進 50議席獲得

民主党政権に向けて大きな前進

民社協会重点候補全員当選！ 当選者の顔ぶれ

比 例 区				神奈川	愛 知	広 島	
							
小林 正夫 初	柳沢 光美 初	直嶋 正行 3期	津田 弥太郎 初	渡辺 秀央 2期	浅尾慶一郎 2期	木俣 佳丈 2期	柳田 稔 2期

第20回参議院選挙は6月24日公示、7月11日投票の日程で実施された。民主党は選挙区、比例区とも、よく健闘し50議席を獲得、改選議席38から12議席増と大躍進を果たした。とくに東京、神奈川、愛知の3選挙区では2名当選を果たすなど、選挙区で31議席を獲得した。比例区でも20名の大台にわずかに足りない19議席を確保した。

非改選の32議席と合わせて、参議院の民主党新議席は82議席となり、以前第一党である自民党に33議席差までに詰め寄った。

民主党は今次選挙で年金問題を最大の争点に掲げ、改正法案の廃止と抜本改革の実行を迫った。与党の強引な国会運営や小泉総理の不誠実な答弁に国民は拒否反応を示した。民主党の勝利は国民の意思を誠実に年金改革に反映させようとする姿勢が好感を持たれ、得票に結び付いたものといえるだろう。

さらに、発足以来3年間が経過した小泉内閣の改革路線に国民が明確にノーという意思を示した。いつまでも改革の実があがらないという国民の不満を民主党はうまく吸収

したといえよう。

民主党は今回の参議院選挙に勝利したことで2大政党の一翼としての地歩をさらに確実なものとした。2003年秋の衆議院総選挙勝利、2004年夏の参議院選挙躍進で、次期衆議院総選挙は否応なく政権をかけた選挙となる。

参議院選挙の敗北を受けて、与党側は体制を立て直すために、次期総選挙はできるだけ先送りすることが予測される。民主党はこの間に政権獲得へきっちりと足場を固めなくてはならない。

党内の組織、選挙体制を再度、確固たるものにしていくこと、前回総選挙のマニフェストを改善して、もっと明確な理念を打ち出し、政策もクリアにしていくことなどが求められる。

今回の参議院選挙勝利を起爆剤として、政権交代に向けてあらゆる準備を集約していくべきである。民社協会所属議員もこのような作業に全面的に協力し、政権獲得に向けた重要な役割を担っていく。